

日常の教育活動

児童理解を基盤とした組織的な取組



教室と廊下の上に壁がないオープンスペースを生かして、学年全体で学び合う場を多く設けています。担任以外の職員も一人一人のこどものよさや課題に気づき全校で子どもを見守り、育てます。

異学年交流「きょうだい学級活動」でも、多くの職員が他学年の児童にかかわっています。

地域との連携

地域の教育力を導入した授業の工夫



コミュニティ・スクールモデル校として、スクールサポートくがはら(学校支援地域本部)との協働により、地域の方々の協力を得た多彩な授業を展開しています。ボランティア活動も盛んで、「読み聞かせ」「図書館支援」「芝生」「おやじの会」などが、あります。

夏休みドキドキ学校

夏休みのワークショップフェスティバル



夏休みドキドキ学校は、家庭と地域(自治会・大学・企業・関係機関 他)の協力を得て、毎年80講座以上の学びの場を設けています。

夏休み、学校は、こどもちの音が響き、とてもにぎやかになります。

大田区立久原小学校



【教育目標】

歴史を誇る久が原の大地に深く根をおろし、桜のように明るく潔く、樺のように天高く伸びてゆく久原小学校に学ぶ子は、

- ◆健康な子
- ◆考える子
- ◆やさしい子
- ◆礼儀正しい子

校長 長谷川 典雅

(全26学級 児童数818名)

令和6年4月1日現在

住所 東京都大田区久が原4-12-10

電話 03-3753-9411

ファクシミリ 03-3753-9412



【こんな学校を目指します】

地域とつながりのある教育活動を推進する

「コミュニティスクール 久原」



- こどもが楽しく登校し、喜びの中で育つ学校
- 保護者から信頼され、安心してこどもを預けられる学校
- 地域に愛され、共にこどもを育む学校
- 教員が自らの職責を誇りに思う学校

- ・将来に向けて学びや生活の基礎を身に付け、人とのかかわりを通して、規範意識や豊かな心を育みます。
- ・こどもたちの心身の健康を守る、安全・安心の学校づくりを進めます。
- ・大田区コミュニティ・スクールモデル事業実施校として、学校の特色や地域の教育力を生かした教育活動を展開します。
- ・教職員同士互いに学び高め合い、協働して指導に当たります。

古代遺跡と校舎

遺跡の上に建つ校舎



校舎の建て替え時に発掘された久が原遺跡の上に建つ本校では、今も悠久のときの流れが感じられます。土器や石器、竪穴式住居跡などは活きた教材になるとともに、この学び舎の誇りにもなっています。

久原フェスタ

双方向のコミュニケーションを行う学習発表会



毎年2月に実施される「久原フェスタ」は、それぞれのこどもが各自のテーマをもって一年間学習してきた成果を発表する学びの集大成です。

児童だけでなく保護者や地域の方々など、参観者の質問に答える全員参加型のスタイルを取り入れています。

教育研究活動

他者と協働して課題解決を図れる子の育成



令和5・6年度大田区教育委員会「大田の未来づくり科」研究協力校として、「地域への愛着をもち、よりよい地域・社会・未来を創造する子」の育成を目指した研究に取り組み、生活・総合を中心とした課題解決型学習活動の一層の充実を図っています。